

三重県 高田高校

第76回中部日本高等学校演劇大会

文部科学大臣賞受賞作品

作 西尾 優

〈登場人物〉

ミサキ

カナデ

シオリ

ナミ

サチエ（放送部）

ノドカ（放送部）

ハルコ（音楽部）

リリカ（家庭部）

タケシ（茶道部）

タケダ（書道部）

タケ豊（馬術部）

幕上がる。

クリス・ハート『I LOVE YOU』流れる。

そこは演劇部の練習場所のよう。

曲に合わせてカナデが歌っている。

歌い終えて、満足げなカナデ。

ミサキ (拍手して) おーーーーー!!!

カナデ 気持ちいーーーーー!!!

ミサキ やっぱ、カナデの、I LOVE YOU、聞くと、落ち着く、

カナデ (片付けながら) ぞ?

ミサキ 帰ってきた、って感じ、(外に向かって) I LOVE YOU!、I LOVE

MI E、

カナデ 何よそれ、

ミサキ こんな年末に? 石川で大会やらんでもな、終わったらもう正月やん、

カナデ まあねえ、あ、でもおばあちゃんにも、観に来てもらえたし、

ミサキ ま、そういうええこともあるか、でも石川、雪降りすぎ、

カナデ 田舎の方に行くともっと積もるんよ、

ミサキ マジで?

カナデ うん、おばあちゃん家とか、もうドカ雪、

ミサキ えー、そしたら、カナデに、助けてもーらお、

カナデ 任せて、明日からおばあちゃん家やで、

ミサキ 助かるー、

カナデ 石川の人はな、弁当忘れても傘忘れるな、って言うねん、

ミサキ どういうこと、

カナデ 雪国は天候変わりやすいで、雨も、雪も、槍も降るってこと、

ミサキ 槍！

カナデ そやでー槍！

ミサキ 雪なんて、たまに降るからええんやんな、槍はさすがに困るけど、

カナデ 槍！（放り投げる）

ミサキ シュッ、（よける）

カナデ 槍！（放り投げる）

ミサキ シュッ、（よける）セーローフ、

カナデ・ミサキ やーローロー！！（槍を投げる）

二人の槍投げ大会。笑う。

カナデ 次、ミサキの番、

ミサキ え？

カナデ 歌って、

ミサキ やだよ、

カナデ 歌って、

ミサキ やだって、

カナデ なんて、

ミサキ 下手やから、

カナデ そんなことないけどなー、じゃあ、一緒に歌お、

ミサキ え、

カナデ ね？

ミサキ んー、下手が目立つやんか、

カナデ そんなことないよ、

ミサキ デュエットなめんな、

カナデ 歌は上手下手じゃないやん、気持ち気持ち、
ミサキ カナデは上手いから言えんねん、
カナデ また、練習してさ、今度、今度、一緒に歌お、
ミサキ うーん、
カナデ ね、
ミサキ ん、また、今度ね、
カナデ やったー、

カナデ、ふと、いつものように、クリス・ハート『I LOVE YOU』を歌う。
ミサキ、聞き惚れている。
カナデ、歌いながら、ミサキの手を取る。

ミサキ (照れて)・・・どこが好きなん？
カナデ (いたずらっぽく)ミサキの？
ミサキ 何言うてんの、
カナデ え、あ、歌？
ミサキ どこが好きなん？
カナデ んー、全部、
ミサキ 悲しい歌やん、
カナデ どこが、
ミサキ どこがって、
カナデ わかってへんなあ、
ミサキ 何、
カナデ めっちゃ好きどうしの歌やねん、
ミサキ どういうこと？

カナデ (ミサキを引っ張り出してきて実演風に) だから、私が、ミサキのことを好き、I

LOVE YOU! (投げキッス)

ミサキ おー!!!!

カナデ で、ミサキも、私のことを好き、I LOVE YOU! (投げキッスを求める)
ミサキ (投げキッスをする)

そのうち、楽しくなってきた、意味のわからない投げキッスの応酬になる。

カナデ そういうことよ、

ミサキ どういうことよ、

カナデ クリス・ハートのI LOVE YOUは、お互いやねんな、

ミサキ ほう、

カナデ たぶん、私も、あなたも、お互い、めっちゃ好きやのに、それが叶わへん、

ってわかってしまつて、さよなら、って、別れを告げるねん、

ミサキ はあ、

カナデ 何よ、

両思いやのに、なんで別れる必要があるん、

カナデ ほう、

さよなら、って淋しいやん、ウチやったら絶対言わん、

カナデ (先輩面して)それが、愛、ってやつやん、

愛、

ミサキ そう、愛、

カナデ んー、まあ、ようわからへんけど、

ミサキ そのうちわかる日が来るよ、

カナデ あ、お子様扱いした?

カナデ　べっつにー、
ミサキ　このやろー、

ミサキ、カナデ、追いかけてあたり。なんでもない風景。
ミサキ、転んだり。

カナデ　（ニコニコして）そういうとこ、好き、
ミサキ　え？

カナデ　おっちょこちよいなとこ、
ミサキ　え、何急に、

カナデ　好きなどこはどんどん言ってくん、足速いこと、おいしそうに食べること、
がめっちゃ出るとこと、あと、何でも、演じられるとこ、
ミサキ　照れるわ、

カナデ　演劇部の、部員シリーズ！イエーイ！！

ミサキ　（まんざらでもない感じで立つ）

カナデ　（呼びかけて）シオリー、

ミサキ　（よく言う台詞でモノマネ）みんな、ちゃんと片付けせなあかんで、

カナデ　（呼びかけて）ナミー、

ミサキ　（よく言う台詞でモノマネ）ギリギリセーフ！！

カナデ　（呼びかけて）カナデー、

ミサキ　（モノマネしようとして、カナデの視線に気づき）本人目の前では、やだよ、
カナデ　えー、いつもやってくれへんのやで、

ミサキ　やりませーん、

カナデ　ミサキの好きなどこ、いっぱい言った、やから、あたしの好きなどこも教えてよ、
ミサキ　えっ、

カナデ チツチツチツチツ、

ミサキ 優しいとこ、

カナデ あとはー？チツチツチツチツ、

ミサキ あ、あと？歌うまいとこ、

カナデ あとはー？チツチツチツチツ、

ミサキ あとは、演劇部のみんなをまとめようとしてくれるとこ、

カナデ あとはー？チツチツチツチツチ、

ミサキ そんなん、言い切れへんわ！ウチが演劇部におけるすべてやから、

カナデ え、

ミサキ

最初は、初日に見学に行ったの、ウチとカナデだけで、なんか、急に歌い出して、変な人やな、この人と一緒にやってけるかな、って思ったけど、一緒に練習してるうちに、カナデは、ホントに演じることとか、歌うこととか、好きなやなっかわかってきて、役がつかめなくて悩んでることとか、褒められて喜んでることとか、ええな、って思ってた、（手作りの垂れ幕と像のところにいき）そんなカナデと、文部科学大臣賞、めっちゃ嬉しい、全国大会でもまだ、演劇できるもんな、へええ、

あ、ごめん、

ええよ、モアイしか聞いてへんし、

モアイ、

（像を指して）モアイ像っぽくない？全国大会の、象徴、演劇部の、守り神、確かに、守り神っぽい、

（像がしゃべってる風に）ボク、文部科学大臣賞の、モアイだよ、あーあー、恥ずかしい恥ずかしい、こんなん、独り善がりやな、

・・・二人善がりやで、

ミサキ

え？

カナデ

（カナデも像のところに近づき）あたしも、ミサキと演劇できて、嬉しいで、このモアイがある限り、あたしたちは一緒に演劇できる、さつき、ミサキの好きなところ、

ミサキ

恥ずかしい恥ずかしい忘れて、

カナデ

忘れられへん、二人だけの、秘密な、

ミサキ

もうやめてって、

カナデ

（遠くを見て）海で、聞きたい、

ミサキ

海？

カナデ

好きなところ言う、告白？みたいな、

ミサキ

ああ、

カナデ

つらいこととか、悲しいこととか、あるやんか、

ミサキ

うん、

カナデ

でも、そんなことより、好きなこと思い出した方が、よくない、

ミサキ

そやな、

カナデ

好きなこと思い出した方が、強く生きられる、

ミサキ

うん、

カナデ

で、海で歌って、好きーーーーー！ってなる、

ミサキ

好きーーーーー！

カナデ

ありがとね、ミサキが、演劇部におってくれて、よかった、

ミサキ

こちらこそ、

カナデ

演劇部のこと、よろしくね、

ミサキ

え、どういうこと？

間。

カナデ さて、みんなが来る前に、トイレでも行ってこよかな、あと10分で片付けやで、
ミサキ (腕時計見て) え、まだ全然やろ、

カナデ のんきやなあ、もう始まるで、ミサキ、

ミサキ あと30分くらいあんで、ウチ早く集合したから、

カナデ 珍しくな、

ミサキ そ、珍しく、ほら、(カナデに腕時計を見せる)

カナデ (ミサキの腕時計を見て) 止まってるで、

ミサキ え？

カナデ 時間、止まってる、

ミサキ ホンマや、

カナデ いつから止まってるん、

ミサキ 知らんし、いつから止まってるん、

カナデ そんなん知らんやろ、

ミサキ 時間止まってるよって言ってよ部長なんやし、

カナデ 気づきなよ、

ミサキ あ、ちよつとシオリもナミもゆっくり来るように言ってよ部長なんやし、

カナデ 普段早く集合するように言うてるやん、

ミサキ (慌てて) ああー、どうしよー、

カナデ なんかやりたいことあるん？

ミサキ あー、うん、

カナデ そやんな、珍しく、今日、1時間も早く呼び出して、

ミサキ うん、

カナデ どうしたん？

ミサキ ・・うん、

カナデ え？

ミサキ、言いよどんでいる。

カナデ ・ ・ ・ あ、万全の状態で聞こ、 、 みんな来る前に、トイレ行ってくるわ、

ミサキ え、あ、うん、

カナデ あ、やっぱ、海で聞こかな、

ミサキ ・ ・ ・ うん、

カナデ 一緒に、海で歌おうね！！ ・ ・ ・ さよなら、

カナデ、去る。

ミサキ ・ ・ ・ さよならとか、言わんといてよ、

ミサキ、文部科学大臣賞のモアイを見る。

シオリ、ブルーシートを持って登場。

シオリ おはよー、

ミサキ あ、シオリ、

シオリ 久しぶり、

ミサキ え？

シオリ 安心した、ホンマにおって、

ミサキ おるよ、

シオリ 学校閉鎖期間やけどさ、ミサキ来るって言うから、特別に開けてもらっちゃった、

ミサキ そっか、演劇部、特別許可で使わせてもらってるんか、

シオリ うん、

ミサキ てか、みんな、集合時間は、守らなあかんで、
シオリ え、

ミサキ 片付けやろ？

シオリ せやけど、

ミサキ 片付けまでが上演やでって、カナデいつも、言ってるやん、

シオリ ・・・・

ミサキ シオリ？

シオリ じゃあ、一緒に片付け、やろ？

ミサキ うん、

シオリ 部室、片付けろって言われたからさ、

ミサキ 片付けられへんよな、思い出やし、

シオリ うん、でも隠そうと思って、

ミサキ え、

シオリ （ミサキにブルーシートを持たせ）せーの、

ミサキ、シオリ、散らかったものにブルーシートをかける。

ミサキ なんか、淋しいな、

シオリ まあね、でも先進めなあかんし、（まだ散らかっているところを見て）ほら、向こ
うもやろ、

ミサキ なあ、、、やっぱやめへん、

シオリ ・・うん、じゃあ、またあとでやろ、

間。

シオリ、文部科学大臣賞のモアイに近づく。

シオリ （像指して） どうする？

ミサキ モアイな、

シオリ モアイ？

ミサキ そ、カナデが、

シオリ あー、ぼいかも、

ミサキ 演劇部の、守り神、

シオリ せっかく私たちが頑張った証でもあるしき、どっか、目立つところに飾ってもらおうよ、

ミサキ でも守り神やでな、

シオリ 次の大会のときには返さなあかんし、

ミサキ え？ そうなん？

シオリ だって、これ、持ち回りやし、

ミサキ そっか、

シオリ でも、文部科学大臣賞、取り消しになるらしいで、

ミサキ え、マジで、

シオリ マジマジ、エライ人から電話来たって、

ミサキ なんで、なんか悪いことした？

シオリ さあ、詳しいことはわからんけど、なんか、ほら、石川、いろいろ大変やんか？
いろいろ、

シオリ いろいろ、やで、その関係でそこまで仕事回ってへんのちゃう？ って、
ウチらに責任ないやん、

シオリ ないねん、でもしやあないんちゃうん、自然のことやし、

ミサキ まあ、ねえ、

シオリ やで、文部科学大臣賞、今後は全部最優秀賞に変更って、

ミサキ　えー、今後って？

シオリ　今後、未来永劫、

ミサキ　えー、かわいそー、

シオリ　ま、ええんちゃう、どっちでも、私ら、演劇やりたくてやってるだけやし、

ミサキ　まあ、それはね、え、じゃあ、ウチら全国には、

シオリ　それは行ける、7月やし、

ミサキ　よかったー、

シオリ　・・ミサキ、来れる？

ミサキ　何言ってるんの、行くに決まっとるやん、

シオリ　やんな、ごめんごめん、

ミサキ　カナデ、知ってるんやんな？

シオリ　知らん、かな、

ミサキ　なんでそんな大事なこと、、、、すぐ言うたらな、トイレ行ってくるわ、

ミサキ、トイレに行こうとする。

シオリ、強くミサキの手を引き、

ミサキ　え、

シオリ　・・・・・

ミサキ　どうしたん？

シオリ　そんな急いで言わんでも、トイレやろ、

ミサキ　それもそやな、

間。

ミサキ （動き出して）・・・ウチらがずっとモアイ、持ってたええんちゃうん、
シオリ え、

ミサキ これは、文部科学大臣賞の、モアイやん、
シオリ モアイ、まあ、そう、

ミサキ それが持ち回りなわけやろ、
シオリ うん、

ミサキ で、文部科学大臣賞は今後ずっともらえへんわけやろ、
シオリ うん、

ミサキ つまり、モアイはウチらがずっと持つといてええんちゃうん、

間。

シオリ たしかに、

ミサキ やろー、

シオリ ナイスアイデア、

ミサキ モアイ、飾りまーす、

シオリ 飾る？

片付けグッズの中から、ミサキ、シオリ、モアイを際立たせる装飾をする。

ミサキ かわいい、

シオリ 似合ってるな、

ミサキ それな、

シオリ 存在感あるよな、

ミサキ 演劇部の、守り神やから、

シオリ　そやね、
ミサキ　よし、もつと飾ろう、
シオリ　ええな（飾ろうとする）、

ナミ、走って登場。

ナミ　ギリギリセーフ！
ミサキ　ナミ、
シオリ　集合時間ってのは、練習始める時間やから、
ナミ　ロカナデ、
ミサキ　ちよつとカナデのセリフ、
ナミ　でも、今日は片付け、
ミサキ　片付けも、練習と同じ、
ナミ　（振りつけて）はーい、はーい、はーい！

みんな、わいわい笑う。

ミサキ　全然、変わらんな、
ナミ　えー？
シオリ　片付けしたらさ、次のお芝居の準備しやんと、
ミサキ　もう？
シオリ　演劇部は、一期一会や、一個の芝居が終わったら、次の準備せなあかん、
ナミ　ロカナデ、
ミサキ　またカナデの、
シオリ　永遠じゃないんよ、さ、やろやろ、

ナミ やるでー、（ブルーシートを持って）せーの！

シオリ、ナミ、散らかったものに、ブルーシートをかけていく。

ミサキ やっぱ早ない？

シオリ 早ないよ、

ミサキ ほら、（モアイ見て）まだ終わってへんのに、先進めるのは、ちよつと、

シオリ、ナミ、顔を見合わせる。

ナミ じゃ、思い出し稽古する？

ミサキ え？

シオリ 部室でずっと過ごしてきた私たちの、思い出振り返っちゃう稽古、

ナミ うんうん、

ミサキ いいねー、

シオリ じゃあ、カナデは、トイレ行ってるけど、先に始めちゃおっか、

ミサキ え、ちよつと、

シオリ 思い出してたら、戻ってくるよ、

ミサキ まあ、そっか、

ナミ （唐突にカチンコを取り出し）じゃーん、カチンコー！

シオリ いいねー、

ナミ シーンの始まりは、カチンコやろ、

シオリ わかってるー！

ナミ じゃあいくよ、いきまーす、アクション！

ナミがカチンコを叩くと、彼女たちの思い出。
クリス・ハート『I LOVE YOU』に乗せてカナデとミサキの出会いからが、演じられる。

(その一 出会い 自己紹介)

ミサキ ミサキって言います、よろしくお願いします。

カナデ カナデです。(なんか節に乗せて) おはようございまーーーーーすよろしくお願いまーーーーーす!!

ミサキ、ふつと笑う。

カナデ えっ?えっ?

ミサキ (握手求めて) よろしく、

カナデ (節に乗せて) よろしくお願いまーーーーーす!!

二人、笑う。

(その二 役がつかめない)

カナデ うーん、

ミサキ どうしたん、

カナデ わからへん、

ミサキ 何?

カナデ 受けの演技が大事って言われるけど、すぐ顔で演技しちゃう、ずっと聞いてるって、しんどいんやな、

ミサキ ウチは、ええと思うけど、

カナデ そう？

ミサキ うん、今のままでも上手いし、カナデが悩んだことが、カナデのお芝居を、もっとよくするんとちゃうかな、

カナデ ホンマ？

ミサキ うん、

カナデ ありがとうミサキ、

（その三 文部科学大臣賞）

カナデ え？今、なんて言った？

ミサキ 文部科学大臣賞、

カナデ ってことは？

ミサキ ってことは？

カナデ 全国？

ミサキ うん、

カナデ 全国大会？

ミサキ うん、うん、

二人 やったー、

カナデ、ミサキ、抱き合って喜ぶ。

ミサキ ・ ・ カナデ、

カナデ、ミサキ抱き合ったまま、

カナデ あ、ごめん、

ミサキ ううん、
カナデ どうしたん？
ミサキ ・・うん、
カナデ え？

ミサキ、言いよどんでいる。

カナデ あ、万全の状態で聞こ、・、みんな来る前に、トイレ行ってくるわ、
ミサキ え、あ、うん、
カナデ あ、やっぱ、海で聞こかな、
ミサキ うん、
カナデ 一緒に、海で歌おうね！！・・さよなら、

カナデ、去る。

ミサキ ・・やからさよならとか、言わんといてよ、

ミサキ、ふと、文部科学大臣賞のモアイを見る。
波の音が大きくなっていく。

ナミ （カチンコを叩いて）カート！！
ミサキ （我に返って）はっ、

ミサキ、周りを見回す。
そこにはシオリとナミ。

ミサキ
え？

間。

ミサキ
カナデは？

シオリ
あー、トイレちゃう、

ミサキ
長ない？

シオリ
そんな、トイレ長いとか言わんの、

ナミ
そやで、トイレ長いとか言うな、

シオリ
ナミが言うな、

ナミ
たはー、

シオリ
久々に演技してみた気分はどう？

ミサキ
演技？

シオリ
そう、私たち、演劇部やん、

ナミ
演劇部ー！

シオリ
やで、舞台で、演技するやん、

ナミ
演技するー！

シオリ
まあ、ナミは素やけど、

ナミ
何っ、

シオリ
これ、次のお芝居の、セット、

ミサキ
ブルー、シート、

シオリ
そう、ブルーシート、これと部室の机椅子をセットにしてな、お芝居するねん、

ナミ
かっこええやろ、

ミサキ
まだ終わってへんのに、先進めへんって、

シオリ うん、そうなんやけどな、

ミサキ 急いでもええことあらへんって、

ナミ そやな、ミサキはしばらく学校休みやったし、これからやな、

ミサキ え？休み？

シオリ ナミ、

ナミ あ、

ミサキ 休み、

シオリ ちやうねん、練習の休みはな、ちゃんと時間決めてせな、って、な、

ナミ プカナデ、

ミサキ ウチ、学校、休んでた・・・？

ナミ (慌てて) いや、違うんですよー、

声 すいませーん、

ナミ あ、誰やろな、

ミサキ 学校閉鎖やろ？

ナミ 行ってくるわ、

ミサキ あ、ちよつと、ナミ、

ナミ、走って外に出る。

ミサキ なんか、ウチに隠してるやろ、

シオリ え？

ミサキ シオリも、ナミも、変やで、

シオリ そんなことないで、

ミサキ じゃあ、ウチが変なんや、

シオリ え？

ミサキ シオリも、ナミも変じゃないんやったら、ウチが変なんや、
シオリ いや、そんなことは、
ミサキ なあ、カナデは？

シオリ ・・・・

ミサキ トイレ行つて全然戻つてこやへんやん、カナデ、今どこ？
シオリ ・・・・それは、、、

ナミ、走つて入ってくる。

ナミ あの――――！！

ミサキ ん、

ナミ 取材です！！

ミサキ え、

ナミ 私たちの、取材したいつて、放送部が、

ミサキ 学校閉鎖やろ、断ったら、

ナミ 今日が都合ええねんで、作品の締切、近いらしくて、

ミサキ ああ、うん、

ナミ 文部科学大臣賞の、インタビューとかさせてもらえたらつて、

ミサキ 最優秀賞やけどな、

ナミ ええよね、取材、（聞かずに）ありがとー、

ミサキ ・・・・（モアイ見て）カナデにも聞いてみな、

シオリ なんて、

ミサキ なんでつて、部長やんか、

シオリ 今、トイレやし、

ミサキ 待てばええやん、

シオリ （深く息を吸って）今、カナデ、おらんかもしれん、
ミサキ え、

シオリ やから、代わりにミサキやってや、

ミサキ え、おらんって何？おったやん、

シオリ でも、来るかもしれやん、

ミサキ どういうこと？

ナミ やってみよ、

ミサキ え？

シオリ ね？インタビューだけやから、

ミサキ えー、まあ、やろつか、インタビューくらい、

ナミ イエーイー、じゃあ、呼ぶで、

シオリ うん、

ナミ （呼びに行き）入ってきて、

サチエ、ノドカ、入ってくる。

サチエ 失礼します、

ナミ どうぞどうぞ、入って、

サチエ （盛り上げて）このたびは、第76回中部日本高等学校演劇大会 文部科学大臣賞
受賞、おめでとうございますー、

サチエはカメラとマイク、ノドカはレフ板を持っている。

シオリ ありがとうー、

ナミ ひゅーひゅー、

サチエ すごーい、これ、セットですか？

シオリ うん、次のお芝居の、

サチエ 全国大会の、次のですか、

シオリ そうだね、

サチエ さすが、全国は違うな、

ナミ たはー、

サチエ なんか、ピクニックに行ってるようにも、なんか、海、みたいにも見えますね、
でしょ？色んな風に見えるのが、演劇なの、

サチエ へえー、メタファー、ってやつですね、

シオリ そうそう、

ナミ 名前は、

サチエ あ、えっと、私、放送部で、1年生の、サチエって言います、と、機材係の、ノド
カです、

ノドカ （ちよつとだけペコツとして）どうも、

ミサキ 塩対応やな、

サチエ すみません照れ屋さんなんですよ、で、私たちはドキュメンタリーも、ドラマ
も作って、で、全国大会とか狙ってるんですけど、なかなか行けなくって、

ナミ そうなんや、

サチエ はい、なので、ドキュメンタリーという形で、演劇部さんを、取材させてもらうと
ともに、その過程で、作品作りのコツとか、作品にかける思いとか、そういうのも、
学べたらな、なんて思ってます、いいですかね？

ミサキ はい、

サチエ 部員も少なく、2人しか来れなくて、すみません、人数少ないんですけど、ジャ
ーナリズム精神で頑張りたいと思います、よろしく願います、

シオリ いえいえそんな、

サチエ　では早速、はじめさせていただきますね、少々お待ちを、

サチエ、ノドカと準備をする。

ナミ　じゃーん！！カチンコー！！

シオリ　持つてるとめっちゃ放送部っぽい、

ナミ　演劇部が放送部を演じる、演技派やろ、

シオリ　素やろ、

ナミ　何っ、

シオリ　それそれ、

ナミ　（大きく）アクション！カーツト！！

サチエ　お願いしてもいいですか？

ナミ　もちろん、懂れやったん、

サチエ　じゃあ、お願いします、

ナミ　はいよー、

シオリ　張り切ってるなー、

ナミ、張り切ってカチンコを構える。

ナミ　はいじゃあいきまーす、（カチンコを打って）アクション、

サチエ　じゃあ、私から、質問していきますね、12月に、石川県？でしたっけ、中部日本高等学校演劇大会で、文部科学大臣賞を受賞して、全国大会に出ることになったときの気持ちを、教えてください、

ミサキ　まず率直に、嬉しかったですね、まさか、自分たちが、って思ってたので、自分たちの、できるお芝居はやってこられたかな、とは思いましたけど、他の、お芝居も

サチエ
ミサキ
はい、で、実際に、全国大会ですよ、どうですか？
いや、プレッシャーですよ、中部地区の、代表として全国大会に出るわけですから、生半可な気持ちじゃできないですし、みんな、頑張ってきたんです、カナ

サチエ
ミサキ
・・カナデさん、というのは、

サチエ
ミサキ
ウチの演劇部の部長ですね、
その方は、

サチエ
ミサキ
今、どっか行っちゃってて、
どっか、

ミサキ
サチエ
トイレ、とか、
なるほど、トイレ大事ですもんね、

ミサキ
・・でも、演劇部で過ごした時間には、いつもカナデがいてくれたんで、勇
気百倍です、

サチエ
ミサキ
そうですね、カナデさん、のことについて聞いてもいいですか、
はい、どうぞ、

サチエ
ミサキ
今お話し伺っていると、カナデさん、は、演劇部の精神的支柱、のような存在に見受
けられるのですが、それは、いつからですか？

ミサキ
サチエ
演劇部に入ってから、ずっとですね、
ずっと、

ミサキ
サチエ
そうですね、とにかく、視野が広がっていくか、ウチが演劇部に入ってから、ずつ
と助けられっぱなしで、

サチエ
ミサキ
なるほど、大切な人なんですね、
はい、大切な人です、

サチエ
じゃあたとえば、その、カナデさんがいなくなったら、どうしますか？

ミサキ ん、それは、どういうことですか？

サチエ いや、たとえば、の話で、カナデさんがいなくなったら、

ミサキ いない方がいい、ってことですか、

サチエ いえ、そうではなく、

ミサキ そんな話、しないでください、不愉快です、

サチエ すみません、

ミサキ いえ、

サチエ ・ ・ ・ では話を変えます、石川県では、12月の中部大会の後、すぐ、大きな地震があつたと思うんですけど、そのことに関してはどうですか？

ミサキ え？

サチエ どうですか？

・ ・ はい、そうですね、ウチら、三重に住んでるので、正直、最初は、大会のときに、地震、起きなくてよかった、とか思ってたんですけど、どうしても、距離
とか、感じちやって、自分ごとじゃないっていうか、

サチエ ・ ・ そうですよね ・ ・ 私たちも、実際、ほとんど揺れてないから、死者とか、行方不明者とか、数字でしか、わからないじゃないですか？大きい地震だった割に、死者とか、行方不明者とか、少なかったって、聞きました、安否不明者1人とか、すごくないですか？最大震度7ですよ、

サチエ そういうの、よくないよ、

ミサキ え？

サチエ ウチも、そんなん、自分と関係ないやん、とか思ってたんやけど、でも、カナデに、南海トラフかて、いつ起きるかわかれへんのやし、たまたま、自分とこに起きなかっただけで、自分ごととして考えなあかんよ、って言われて、そうやな、って、恥ずかしく思ったりもしました、

サチエ ・ ・ カナデさんに、言われた、

ミサキ

はい、カナデ、おばあちゃん家が石川にあるから、大会終わって、こっちで片付け
たらすぐ戻るって、えー、そんな売れっ子みたいな移動の仕方、なかなかせえへん
よ、って、おばあちゃん家は大会あったとこよりも、さらに田舎やから、めっちゃ
雪降って、めっちゃ海きれいで、・・・・あれ、カナデ、こっちで片付けって、
やったんやつけ・・・・？あれ、カナデ、おばあちゃん家、帰ったんやつけ？？あれ？？

ミサキ、混乱している。

ナミ

カーツト！！

サチエ

はい、ありがとうございます、一旦、休憩です、

シオリ

ミサキ、お疲れ、

ミサキ

うん、ありがと・・・なあ、あの子失礼ちゃう？

シオリ

取材ってそんなもんなんちゃうん、

ミサキ

そう？でも怪しい、

シオリ

何が？

ミサキ

ちよつと演劇部の内部事情に詳しくってどうか、

シオリ

それは放送部やから、ドキュメンタリーやから、リサーチしてきてくれたんやろ、

ミサキ

そっかな、

シオリ

そうだよ、

サチエ

（ミサキに近寄って）でも、ホント、演劇ってすごいですよ、役になりきるって
いうか、

ミサキ

すごいでしょ、ウチも、カナデに教えてもらったんだ、演じることの楽しさ、

サチエ

へえ、会って見たかったな、カナデ先輩、

ハルコ、リリカ、入ってくる。

ハルコ
いたー！

リリカ
サチエー！

ハルコ
サチエー！

ミサキ
学校閉鎖だよ？

ハルコ
放送部の部室行ったら、開いてなかったから、こっち来ちゃった、

ミサキ
学校閉鎖だよ？

シオリ
どうしたん？

ハルコ
サチエが、番組作りすごい困ってるって言ってたんで、私たちのことも取り上げて欲しいな、って思っ
て、

リリカ
協力したいですー、

ミサキ
同じ部活？

リリカ
はいー、私、先輩のー、

ハルコ
（慌てて）あー、違う部活です！

ミサキ
えーっと、

リリカ
リリカです、

ミサキ
リリカちゃん、家庭部、

リリカ
正解ですー、なんでわかったんですか？

ミサキ
いや、なんていうか、ザ・家庭部って感じだから、

リリカ
どこがですかー？

ミサキ
格好、

リリカ
えー？

ミサキ
しゃもじにエプロン、

リリカ
キララ立ってる私、かわいくないですか？おいしくなーーーーーれ、マジカル☆リ
リカ☆フラッシュユ、

•
•
•
•
•
•

(ミサキに) リリカ☆フラーツシュ、

うわー
ー
ー
ー
ー
ー
（倒れる）

（急に野太い声で）ハッ！ハッ！ハッ！ハッ！ハッ！ハッ！！

（起き上がって）なんでやねーん！！

不思議ちゃんなんです、

そう、
（ハルコに）えー、

ハルコでーす、

ハルコちゃん、何部だろ？

何部に見えます？

コ、泳ぐふり。

えつと、水泳部、

惜しい！ハッ！

コ、急にダンスバトルを仕掛ける。

キ、なぜかそれに乗つかる。

ダンス部、

じゃーん、音楽部です、

惜しくねえじゃん、

キ、ハルコが楽譜を持っているのに気づき、

ミサキ それ、楽譜？

ハルコ はい、

ミサキ カナデが音楽部か演劇部か迷って、演劇部にした、って言っとったんや、
ハルコ へえ、すごいですね、カナデさん、

バンブ イチニツ、イチニツ、イチニツ、イチニツ、イチニサンシゴ！

と言いながら、バンブーズ、整列。
独特な格好をしている。

ミサキ またなんか来たよ、

タケダ 回れ右、

バンブ イッチニーサン！

バンブーズ、後ろを向く。

ミサキ 誰だよ、

バンブ イッチニーサン！

バンブーズ、前に向き直る。

タケシ 茶道部の、タケシです、

ミサキ 茶道部にこんなやついねえよ、

タケダ 科学部の、タケダです、

ミサキ フラスコ持つてるしね、

タケダ 書道部の、タケダです、

バンブ (ガツカリして) 竹生えぬー、

ハルコ 私たち、みんな、何か力になれたらと思うんですけど、

リリカ リリカ☆フラッシュ、

バンブ (ポーズして) バンブーーーーーズ！

サチエ ありがとう、でも、今、演劇部さんの取材中やから、

バンブ 演劇部、バンブー！！！！

サチエ すみません、

ミサキ いやいや、

サチエ 終わったら、また、部室戻るから、そのときに、また、協力して、
ハルコ わかった、(みんなに) じゃあ皆の衆、解散！

ハルコ、リリカ、退場。

タケダ・タケ豊 ブーブー！

タケシ うるせえ、帰るぞ、

タケダ・タケ豊 はい、

バンブ イチニツ、イチニツ、イチニツ、イチニツ、イチニサンシゴ！

バンブーズ、退場。

ミサキ なんだよこれ、

サチエ すみません、いい子たちなんですけど、

ミサキ そりやそうだろうけど、

シオリ でも、カナデみたいな仕切りやったよ、

ミサキ そう？

シオリ うん、キレ抜群、カナデが乗り移ってるみたいやった、
ミサキ そ？それは嬉しいかも、
シオリ ツッコミもいけるんやね、
ミサキ （ふざけて）なんでやねーん、

場がなごむ。

サチエ じゃあ、なんか、休憩にならなかったかもなんですけど、ドラマ部門の方も、撮影

させていただいてもよろしいでしょうか、

ミサキ いいよ、

サチエ ありがとうございます、あの、私たちも勉強させていただきたくて、何か少し、みなさんの演技を見せていただくことって、

ミサキ いいよ、

ナミ わっほーい！！

シオリ エチュードとか、する？

ナミ エチュード！ふううううう！！

サチエ エチュード？

シオリ 即興の演劇なんだけど、テーマと、場所くらい決めて、あとは自由に、演技するっていうの、

サチエ それ、いいですね！普段の練習でもしてるんですか？

シオリ もちろん、演技力アップのコツだね、

サチエ へえ、演技力アップのためには、エチュード、

ナミ なんかお題ちょうだい、

シオリ なんかある？

ミサキ ウチは、なんでも、

シオリ　　そっか、

ナミ　　場所は、演劇部部室、とかでどう？

ミサキ　　ここ？

ナミ　　そう、

ミサキ　　まんまやん、

シオリ　　まあ、ええやん、

ミサキ　　ええけど、

ナミ　　じゃあ、お題は、

サチエ　　テーマは、好きなもの、とかでどうですか？

シオリ　　好きなもの、

サチエ　　たとえば、自分の好きなものについてひたすらしゃべってる女子高生3人とか、

ミサキ　　まんまやん、

サチエ　　すみません、

シオリ　　ええかも、私ら、演劇部には、好きなこと、いっぱい詰まってるやん、

ミサキ　　まあ、そやな、

シオリ　　じゃあ、決定！場所は演劇部部室、テーマは、好きなもの、それ以外は自由に演技するってことで、

ミサキ　　わかった、

サチエ　　じゃあ、お願いします、

ナミ　　（張り切って）じゃあいきまーす、（カチンコを鳴らして）アクション！

エチュード開始。

シオリ　　ここは、部室だねー、

ナミ　　うん、ここは部室だよー、

ミサキ　なんだそのうさんくさい会話、

シオリ　あー、いい天気だねー、

ナミ　ねー、いい天気、雲一つない青空、

ミサキ　そんな言うたことないやろ、

シオリ　いい天気だとさ、好きなものについてしゃべりたくなるよね、
なるなるー、

ミサキ　天気関係ない、

シオリ　いい天気やから好きなものでもしゃべろう、

ナミ　そうするか、

ミサキ　なんでやねーん！！

シオリ　じゃあ、演劇部のことについてしゃべろう、

ナミ　だな、

ミサキ　やつぱり、

シオリ　演劇部といえ、今度の大会どうするー、

ナミ　それー、

シオリ　先にセットから作ってみよと思って、倉庫にあったから、出してきてみた、なん
か、よくない？

ナミ　いい、いい！ブルーシート最高！！

シオリ　かけると、一瞬で、地震の後、の、ブルーシートみたい、

ナミ　壊れた家とかにかけてるやつ？

シオリ　そうそう、

やめて、

シオリ　雨風しのぐだけじゃなくって、寒さも防げるし、

ナミ　それは便利、

シオリ　しかしブルーシート、圧巻やな、

ミサキ (強く) やめて、

シオリ どうしたん、ただのエチュードやで、

ミサキ うん、でもやめて、

シオリ 次のお芝居のセットやで、

ミサキ そんなん、全国終わってからでええやん、

シオリ あかんよ、

ミサキ なんで、

シオリ 全国終わってからやったら、時間足りへんで、

ミサキ でも、終わってないのに、先行っても、集中できへんし、

シオリ 演劇って、いつまでも終わらんのが楽しいよな、

ナミ ロカナデ、

ミサキ そう、そうやで！何回も言わせやんといてよ、終わってないねん、

シオリ でも、終わらせなあかん、

ミサキ え、どういふこと？

シオリ 今が、終わらせるとき、

ミサキ てかカナデは？どこなん？どこにおんの？さっきからロカナデとか、なんなん、ウ

チら、みんなで、4人で、全国いくねん、それだけが生きがいやねん、

ミサキ、

シオリ ん？

ミサキ 3人、

シオリ え？

シオリ 全国行くのは、3人やで、

ミサキ え、なんで、4人やんか、

シオリ 3人、

ミサキ え？

シオリ 誰？

ミサキ シオリとナミとウチ・・・（カナデがいた方向に視線をやり）と、カナデ、

シオリ・・・

ミサキ シオリとナミとウチとカナデ！

間。

シオリ 気づいてるやろ、

ミサキ ・・・え？

シオリ いつもやったらカナデ先言うやん、カナデ後回しやんか、

ミサキ ・・・

シオリ カナデは、もうおらん、

ミサキ そんなわけ、

シオリ そんなわけある、知ってるやん、

ミサキ 知らん、

シオリ 知ってる、

ミサキ 知らん、

シオリ ミサキは、知らんふりしてるだけ、

ミサキ してへん、（ふらっと）カナデ、カナデ、カナデ、

シオリ ミサキ、しつかりしなよ、現実、見なよ、

ミサキ、その場に倒れ込む。

ナミ

・・・シオリ、言うてること正しいけど、ちょっと言葉きつついから、気をつけ
てよ・・・byカナデ、

間。

シオリ　・ ・ ・ ミサキ ・ ・ ・ 言うで、

ミサキ　・ ・ ・ ・ ・ ・

シオリ　カナデ、石川の、地震で、おらんくなつてしもて、ずっと、行方不明で、今も、行

方不明で、で、カナデおばあちゃん家に帰省するって言つてたから、私たちも心配してて、ずっと連絡してたけど、連絡取れへんくつて、新学期入つても学校来てへんし、部活くらいは来るかな、と思つてたけど、けーへんくつて、で、しばらくしたら、カナデが行方不明つて、顧問の先生から聞いて、そんとき泣いて、部屋飛び出して、そこから学校来てなかつたやんか、

ミサキ　・ ・ 誰が、

シオリ　ミサキが、

ミサキ　・ ・ ・ ・ ・

シオリ　ミサキは、久しぶりに学校出てきた、今、お盆や、暑い暑いお盆や ・ ・ ・ ミサキが楽しみにしてゐる全国大会も、終わつてしもた、えつ、

ミサキ　終わつてしもた、

シオリ　・ ・ ・ ごめん、

ミサキ　終わつたんやで、先進まな、

シオリ　・ ・ ・ ・ ・

ミサキ　今日かて、勇気出して、来てくれたんやろ、

シオリ　・ ・ ・ ・ ・

ミサキ　嬉しかったんやで、私たち、

ナミ　・ ・ ・ ・ ・

シオリ ミサキのこと、心配なん、

ミサキ そんなん、

シオリ 心配なん、

ミサキ ・ ・ ・ ・ ・

シオリ 私たちのことも、信用してよ、

ミサキ ・ ・ ・ ・ ・

シオリ カナデは、もう、おらん、

ミサキ ・ ・ おるよ、

シオリ どこに、

ミサキ ここに、

シオリ どこに、

ミサキ ここに、

ミサキ、大きく呼吸をして、カナデを演じる。

ミサキ

（カナデを演じて）ナミ、集合時間は、練習始める時間やからもっと早く集合してよ・ ・ ・シオリ、言っとることは正しいんやけど、ちよつと言葉きつついから、気をつけてよ・ ・ ・ミサキ、演劇は、誰にでもなれて、どこにでも行けるのが、おもしろいよな、ホンマは、そうじゃなかったかもしれん人生とか、演じられるのも、楽しいよな・ ・ ・ミサキ、演劇は、いつ終わるのかわからんのがおもしろいよな、一個の芝居が終わったら、次の準備せなあかん・ ・ ・いつまでたっても終わらんし、私たちが続けよって思う限り、どこまでも続けられるねん・ ・ ・なあ、ミサキ、海、行こ、なあ、海、行こ、

ミサキ、シオリとナミを強く見る。

シオリ ・ ・ カナデ、
ミサキ カナデはおる、ウチがおるって思い続けたら、おるねん、

間。荒い呼吸。

ミサキ （サチエをキツと見て） ・ ・ でもあんたら、どういふつもり？何企んでんの？
ナミ ミサキ、

ミサキ カナデも、シオリも、ナミも、わかるで、4人で、演劇部で、ずっとやってきた仲間やんか、 、 、でもあんたら何？放送部やからって、ドキュメンタリー撮ろうとかって、ウチのこと、よってたかって、おもちゃにして、え？ちよっと、どういふつもりなんよ、

シオリ ミサキ、違うの、ミサキ、
ミサキ 何が違うんよ、

ミサキ、サチエにつつかかる。
それを止めようとする機材係のノドカ。
ミサキと、ノドカ、向かい合う形になる。

ミサキ え、
ノドカ ・ ・ ・ ・ ・
ミサキ カナデ ・ ・ ・ ・ ・？
ノドカ ・ ・ ・ ・ ・
ミサキ え、なんで ・ ・ ・ ・ ・カナデ？？？
ノドカ ・ ・ ・ ・ ・ノドカです、

ミサキ え？

ノドカ カナデの、妹です、、ノドカです、

ミサキ なんで、え、カナデは、

ノドカ わかりません、

ミサキ わかりません、

ノドカ あの日、あの地震の日、あたしたち、おばあちゃん家にいて、お姉ちゃん、ふっと

海を見に行くって、家を出て、それっきり、

ミサキ ・・・・・

ノドカ で、地震起きて、あたしたちも生きるので精一杯で、もちろん、いろんな人に探し

てもらったけど、全然、見つからなくて、あたしも、もちろん、ずっと探してたけ

ど、見つからなくて、、、、はい、

ミサキ あきらめないでよ！家族でしょ！

ノドカ あきらめさせてください、

ミサキ え？

ノドカ あきらめさせてください、安否不明者1名ですよ？あんなだけの規模の地震で、安否不明者、たった1名ですよ、もう、手は尽くしたんです、、すみません、、

間。

ミサキ ウチは、どうしたらええん、

間。

ミサキ ウチは、どうしたらええん、

シオリ ミサキ、

ミサキ

こないだ、南海トラフ地震臨時情報とか出て、でもなんも起きなくて、三重は全然揺れへんわ、逆にこわいわ、とか、他人事みたいに笑ってて、当たり前のように、石川の地震のこととか、カナデのこととか、全然、、忘れてて、、

シオリ

・ ・ ・ ・

ミサキ

でもカナデは、ウチにとってすべてやねん、世界のすべてやねん、そんなん、全然、忘れられへん、二人で、笑ったことも、二人で、泣いたことも、、二人で、抱きしめ合ったことも、忘れられへん、

シオリ

忘れても、ええやん、

ミサキ

なんでそんなこと言うん、

シオリ

私も、忘れたくないって、思うよ、でも、先、進も、

ミサキ

ウチには、カナデしかおらん！ウチが覚えてなかったら誰が覚えてるんよ！

ノドカ

・ ・ ・ ・ 独り善がり、

ミサキ

・ ・ ・ ・ え？

ノドカ

・ ・ ・ ・ もう、耐えられへん、先輩、ごめんなさい、やっぱ、あたし、無理です、抜けます、

ハルコ、リリカ、バンブーズ、全員で入ってくる。

リリカ

ノドカ、

ノドカ

何、

ハルコ

ノドカが言ったんやで、

ノドカ

やめて、

ハルコ

お姉ちゃんの、一番好きやった人、見てみたいって、

ノドカ

・ ・ ・ ・ ・

ミサキ

え ・ ・ ・ ・ ・ ?

間。

ハルコ　ちゃんと、見なよ、

ミサキとノドカ、見つめ合う。

ミサキ　あんたたち、ウチらの、何わかるん、一番長く、演劇部の中で過ごしてきたウチら

2人のこと、何わかるん、

全員、衣装を脱ぎ、稽古着になる。

ミサキ　・・・・・・・・え？

サチエ　演劇部の、サチエです、

ハルコ　演劇部の、ハルコです、

リリカ　演劇部の、リリカです、

タケシ　演劇部の、タケシです、

タケダ　演劇部の、タケダです、

タケ豊　演劇部の、タケ豊です、

ナミ　演劇部の、ナミです、

シオリ　演劇部の、シオリです、

ノドカ　（最後にゆっくり脱いで）・・・・・・・・演劇部の、ノドカです、

シオリ、優しくミサキを促す。

ミサキ ……（自分の格好を見たりしながら）演劇部の、ミサキです、

シオリ みんな、みんな、演劇部やから、

ナミ 演技派やろ？みんな、ミサキの、後輩やから、

シオリ ミサキが、学校来てへん間に、後輩、入ってくれたんやで、

ミサキ ……

シオリ 演劇部は、二人やない、みんなで演じたら、それはホンマになるから、私たちも、

おるから、

後輩たち、うなづく。

シオリ ミサキは、ここで、生きていくの、

ミサキ でも、ウチ、そんなん、

シオリ 生きて、いくの、

ミサキ ……

間。

ノドカ、ミサキに近寄り、

ノドカ 海、行こ、

ミサキ え？

ノドカ 海、行こ、

ミサキ ……うん、

ノドカ、ミサキの手を引っ張り、走る。
波の音。

海に着いたようだ。

ノドカ ミサキと、海来たかったんだ、
ミサキ ウチも、カナデと、来たかった、
ノドカ ・・・うん、

間。

ノドカ さつき、独り善がりって言って、ごめん、
ミサキ うん、
ノドカ 二人善がり、やな、
ミサキ うん、

間。

海の向こうを見る。

ノドカ ・・何、話って、
ミサキ ・・え？
ノドカ 伝えたいこと、あったんちゃうの？
ミサキ うん・・・ううん、なんでもない、

間。

ナミ みんなー、
みんな うおーーーーー、

演劇部員、全員集合する。

ナミ じゃあ、いくよー、、さん、はい、

みんなでクリス・ハート『I LOVE YOU』を歌う。

みんな （クリス・ハート『I LOVE YOU』の一節を歌う）
ミサキ ・・・・・

間。

ナミ せーの！

一歩近づき、さらに強く、みんなでクリス・ハート『I LOVE YOU』を歌う。

みんな （クリス・ハート『I LOVE YOU』の一節のうち、後半を歌う）

間。

カナデ、ミサキの手を引き、二人、いつもの場所に座る。
ミサキ、何かカナデに言葉を発そうとする。

ナミ せーの！

波の音の高まりとともに、文部科学大臣賞のモアイがブルーシートにのまれていく。

二人もそこにのまれそうになるが、カナデ、ミサキを押し出す。
ミサキだけが、残される。

ミサキ カナデ！カナデカナデカナデカナデカナデ！！

間。

ミサキ ……（深く呼吸して、クリス・ハート『I LOVE YOU』の一節のう

ち、前半を歌う）

間。

何も聞こえない。

ミサキ、機材係のマイクを見つけ、歌う。

ミサキ （クリス・ハート『I LOVE YOU』の一節のうち、後半を歌う）

呼吸音だけが聞こえる。

ミサキ （全力で）カナデ！！好き好き好き好き好き！！大好き！！さよなら！！

ミサキ、大きく手を振る。

クリス・ハート『I LOVE YOU』流れる。

演劇部員たちが、ひとりひとり、出てくる。そこは、部室。

出てくるとともに、みんな、笑顔で、クリス・ハート『I LOVE YOU』を歌う。
ミサキもいっしょに、歌う。

と、気配を察し、ブルーシートを見るミサキ。

ブルーシートが動き、二人の世界が作られる。

二人の上から雪が降り続き、

幕。

※※※

本作品での歌唱部分はすべて、クリス・ハート『I LOVE YOU』（2014）の一節を歌っています。